

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	総合数学	
科目基礎情報							
科目番号	0045		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子情報工学科		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	河合 均						
到達目標							
専門教科の学習に必要な数学の基礎学力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文字式を扱うことができる。基本的な関数の知識をもち、方程式・不等式を解くことができる。		文字式を扱うことができる。		文字式を扱うことができない。		
評価項目2	ベクトルの概念を理解し、計算ができる。ベクトルを幾何の問題に応用することができる。		ベクトルの概念を理解し、計算ができる。		ベクトルの概念を理解し、計算ができない。		
評価項目3	基本的な微分積分の計算ができる。微分積分を関数に関する問題に応用することができる。		基本的な微分積分の計算ができる。		基本的な微分積分の計算ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	専門教科の学習に必要な数学の基礎学力の点検、復習を行う。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義、演習						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	数と式	演習を通して項目の理解度をはかる			
		2週	数と式	演習を通して項目の理解度をはかる			
		3週	方程式・不等式 関数とグラフ	演習を通して項目の理解度をはかる			
		4週	方程式・不等式 関数とグラフ	演習を通して項目の理解度をはかる			
		5週	方程式・不等式 関数とグラフ	演習を通して項目の理解度をはかる			
		6週	平面のベクトル 微分積分	演習を通して項目の理解度をはかる			
		7週	平面のベクトル 微分積分	演習を通して項目の理解度をはかる			
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	微分積分の応用	演習を通して項目の理解度をはかる			
		10週	微分積分の応用	演習を通して項目の理解度をはかる			
		11週	空間の図形とベクトル 行列	演習を通して項目の理解度をはかる			
		12週	空間の図形とベクトル 行列	演習を通して項目の理解度をはかる			
		13週	2変数関数の微分積分	演習を通して項目の理解度をはかる			
		14週	2変数関数の微分積分	演習を通して項目の理解度をはかる			
		15週	到達度試験の解説	到達度試験の解説			
		16週	期末試験の解説	期末試験の解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0